

も う一つのW杯、熱戦

**難民認定申請者ら
フットサルに笑顔**



熱戦が繰り広げられた
「難民W杯」横浜市内で

「世界難民の日」(六月二十日)にちなみ、国内の難民認定申請者ら約四百十人が参加したフットサル大会が二十五日、日産スタジアム(横浜市港北区)で開かれた。祖国を逃れ、厳しい日本の難民受け入れ状況に向き合う外国人たちはサッカー・ワールドカップ(W杯)ドイツ大会に負けないう熱戦を繰り広げ、首脳を一時忘れ、心地よい汗を流し、笑顔をはじめさせていた。

大会は二〇〇四年、国内の難民が厳しい状況に

開かれていたことを広く知ってもらい、支援の輪を広げようとした。二回目の今年は京橋田大(学)山崎去記念ホランテ(イアセンター)(東京都)と日産自動車(四)が共同。〇二年W杯決勝が行われた同スタジアムが初めて会場になった。

難民チームは「アフガニスタン」「クルド」「ビルマ」「イラン」「カンボジア」「ラオス」「ベトナム」。これに日本人ボランティアチームなどが加わり、計十二チームで優勝を争った。

東京新聞 2006年6月26日朝刊)